

過去の水資源功績者受賞者

年度	受賞者	功績概要
令和2年度	【団体】 会津若松市立湊小学校（会津若松市）	学校開校以来21年間、猪苗代湖の水質調査や崎川浜の清掃活動、隣市町と合同での猪苗代湖子ども交流会など、水資源に関するさまざまな教育活動や普及啓発に取り組んでいる。
平成29年度	【団体】 猪苗代町立翁島小学校（猪苗代町）	猪苗代湖を核とした水環境学習に取り組み、湖心・北岸・流入河川の水質調査、水生生物や植物等の観察調査を継続するとともに、地域の自然環境団体や保護者と協力して、水質保全・浄化活動を熱心に進めている。
平成27年度	【団体】 須賀川に清流をとり戻す市民の会（須賀川市）	生活排水等により、水質や河川環境が悪化してしまった“須賀川”（通称、下の川）の自然保護活動と自然環境保全をとおして小学生への環境学習を実施している。
平成26年度	【団体】 郡山市立湖南小・中学校（郡山市）	猪苗代湖の湖岸清掃や水質調査等を実施し、水生生物の環境整備に努めるとともに、地元の環境フォーラム等で活動発表するなど水環境整備の普及啓発活動に貢献している。
	【団体】 阿武隈川サミット実行委員会（福島県）	阿武隈川流域の福島・宮城県の22市町村が一体となり、流域の交流・連携により水資源の保全に貢献し、地域の文化・教育・上下流交流連携などの面で大きな成果を上げている。
平成25年度	【団体】 福島市立茂庭中学校（福島市）	福島県北部の水源である摺上川の水質調査活動を、少人数で全校を挙げて、震災後も休止することなく20年間継続して実施しており、調査結果を地域に発信するなど、環境保全に貢献した。
	【団体】 夏井川流域の会（小野町・いわき市）	上下流で各々活動していた団体が、行政界を越えた夏井川流域全体を活動の場とする「夏井川流域の会」を結成し、健全な水環境の継承を進めるため、流域活動計画策定や流域連携活動の中心的役割を果たしている。
平成24年度	【団体】 福島県立小野高等学校平田校（平田村）	「炭焼き体験学習」の木炭の活用方法について検討し、最も身近な河川である北須川で、木炭の浄化作用を活かした河川浄化活動に取り組んでいる。水質が大きく改善され、これまで見られなかったハヤや清流でしかみられないアオハダトンボも観察される状況となった。
平成22年度	【団体】 南湖清掃ボランティア（白河市）	南湖において、「池干し」清掃や地元小学校と連携した水質浄化プロジェクトを行い、水質の改善に貢献している。さらには、大学研究者らと協働して、動植物・生態系の記録化も行っている。

平成21年度	【団体】ふる里「しとき」を考える会（いわき市）	四時ダム及び四時川周辺の清掃や、花壇の管理等の環境美化活動の他、四時ダム構内におけるフリーマーケットの開催、四時ダム祭り及び四時川祭りを盛り上げるなど、水源地域の活性化に尽力している。
平成20年度	【団体】夏井川河川愛護会（小野町）	長年にわたり桜の剪定や草刈りを行い、地域住民が一体となり環境美化に努めるとともに、地域住民等が河川の里親となる河川養子縁組（アダプトリバー）を平成15年によりはじめることにより、更なる河川環境保全に貢献している。
平成19年度	【団体】福島県立湖南高等学校（郡山市）	地域の環境を保全する活動として、猪苗代湖の環境整備等を40年に亘り実施するとともに、クラブ活動においても地域の水資源の保全に取り組んでいる。
平成17年度	【団体】宇多川愛好会（相馬市）	昭和46年の設立以降、長年にわたり宇多川河川敷の草刈り・清掃や稚鮎の放流、水生生物調査及び小中学生への指導等を行っている。
平成12年度	【団体】浪江植林ボランティア（浪江町）	植林ボランティア活動を通じて水資源の整備、地域の河川の清掃活動を実施。
平成6年度	【個人】広川 重一（天栄村嘱託員）	1962年から1994年まで（32年間）竜生ダムの管理に従事。
昭和62年度	【個人】橋本 清吾（三春ダム対策同盟会会長）	三春ダムの建設促進に尽力。
昭和56年度	【団体】田島町	阿賀野川水系の水資源の整備、河川の清掃活動を実施。